

中一 国語科通信

第1号
令和4年7月20日
国語科1年担当
堀之内・狭間・日高



みとせ
三年ぶりのプール開きは明日 九時を
待たずに吾子が「おやすみ」と言う

獅子の百字

文章を論理的に読み解く「論理の虎」にはずいぶん慣れ、次に「百字の獅子」が始まりました。今度は「読解」ではなく「表現」です。決められたテーマに沿って、百字で自由に文章を作ります。五月、六月と二回実施しましたが、第一回の五月のテーマは「母」の日、「友達」「緑」でした。今回はその中からいくつか作品を紹介します。

〈友達〉
「友達と私」

一組 藤高七菜子

友達と私は好きなことや、はまっていることがよくかぶる。私が持っていた本や私が好きになった曲は友達も持っていたり好きだったりする。慣れない学校生活で不安だったが、友達がいることで毎日が楽しくなった。

▼感性や価値観が似ている人がいると、嬉しくなりますよね。教科書に載っている「シンジュー」こういう作品を読んでみてください。きっと共感できると思います。

〈母〉
「私の監視カメラ」

二組 祐下奈々

私にとって母は、「喋る監視カメラ」だ。私ที่บ้านで過ごしているとき何かを始めようとする声をかけ、家を出る時は私が見えなくなるまで見張っている。たまにうんざりするが、私は「喋る監視カメラ」のことが大好きだ。

▼「見張っている」というところがグツときました。お母さんの気持ちとしては、「見守っている」んだよね、きっと。お母さんもあなたのこと、大好きだと思いますよ♡

〈みどり〉
「みどりの黒髪」

一組 松山結衣子

先日、祖母に「結衣子の髪は『みどりの黒髪』だね」と言われた。気になって調べてみると、若々しくつやのある髪という意味だった。「みどり」には濃い藍色という意味もあるそうで、言葉の奥深さを実感した。

▼植物の葉っぱは緑なのに、「青菜」と言いますよね。信号機も緑色を「青」と呼んでいます。これもぜひ調べてみてください。

〈母の日〉
「僕とプレゼント」

三組 渡邊陽仁

お小遣い制になって、初めて母にプレゼントを渡した。すると母は、プレゼントをすごく喜んでくれた。そんな母を見た時に、ふと、風が吹き、うまく言い表せない不思議な気持ちになったが、後に嬉しいのだと気付いた。

▼これを読んでいる人の心にも、甘い香りのやさしい風が届きます。贈られた人はもちろん、贈った人もうれしくなるなんて、とても素敵。まして最高級のプレゼントですね。

〈母〉
「なぜ誕生日に母を祝わないのか」

二組 佐土瀬 新

なぜ誕生日に母を祝わないのか。誕生日は、自分ががんばって生まれてきた日と言われるが、ぼくにっては母ががんばって自分を生んだ日だと思ふ。なぜ母ではなく、自分を祝うのか、そのきっかけを、調べてみたい。

▼本当に、がんばって産みました。そして、人生で最高に幸せな瞬間でした。だから「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちで祝うんじゃないかな。私は、そう思います。

〈緑〉
「新緑の若葉」

三組 興梶彩花

「緑」と聞いて私が思い浮かべるのは、雨に濡れた瑞々しい新緑の若葉である。鮮やかな新緑の葉から雨の雫が零れ落ちる様子を見ていると、腹の底から美しい清水が湧き出てきて、自分が若葉になったような感覚に包まれる。

▼「雨なんか大嫌いだ」なんて思っていたら、人生損しちゃうなと思わせてくれる文章でした。雨の育む命、雨そのものの美しさ、そして、彩花さんの心の清らかさがあふれています。

〈緑〉
「まさかこんな物が……」

三組 後藤蒼太

キュウリは水分を多く含んでいる野菜だ。そこで考えたのは、水筒の代わりとして使えるのではないかと、という事だ。キュウリは軽くて持ちやすく、シャキシャキして食べやすい水筒の代わりでキュウリを使うとよいのだ。

▼レタスと95%水分だぞ！と言いつつになりましたが、持ち運びの面でキュウリの圧勝ですね。それにしても「食べられる水筒」ってすごい発想！時代の先駆者になれるかも？

「一中の国語」

堀之内圭子

一中に入學して四か月近く経ちました。一中の授業はどうでしたか。「論理の虎」「古事記」「百人一首」、そして「百字の獅子」と、一中独自の取り組みが盛りだくさんでした。皆さんの読解力、思考力、表現力を鍛えるべく、国語科の教員は全力で授業準備をしています。合言葉は「脳みそを動かす！」夏休みも脳みそを怠けさせないで、うんと動かしてください。

新型コロナ感染者が急増しているので、家族旅行もままなりません。だからこそ、この夏休みはぜひ図書館や書店に足を運んでください。私は新聞の書籍の広告欄を見るのがとても好きです。「おもしろそう！」「こんなことが知りたかった！」という魅力的な本が紹介されていて、その紙面を写真にとって保存したりしています。その中から、最近気になった本を紹介しよう。（キュウリコンビーに引き付けられるでしょうか？）まだ読んでいないので、内容については保証できませんが……。

『12歳までに知っておきたい 語彙力図鑑』
「伝える力」が伸びる・学力が高まる
・コミュニケーション力アップ！
『13歳からの地政学』—— 今、世界で起きていることの「なぜ？」がわかる！
『ホールブレイン』心が軽くなる脳動かし方—— 脳全体を活かせば、なりたいた自分になれる。
『メンタルを強くする食習慣』—— 心が軽くなる・自信が高まる・やる気みなぎる

一冊の本との出会いが、自分を変えるきっかけになったり、自分の世界を広げたりされたりするかもしれません（もちろん小説も含みます）。書店に行けば、「読んでみたい！」と思わせてくれる本がいっぱいありますよ。まずは、手に取ってみてください。